

事業№ 158	事業名 埋蔵文化財調査費	担当部署	部名 教育委員会
		課名 文化・スポーツ課	電話 59-8093
事業期間	開始年度 平成 17 年度	終了年度 —	予算科目 会計 一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち	
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり	
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造	
	実施計画掲載	無	個別計画
根拠法令・要綱等		文化財保護法第92～108条、文化財保存事業費関係補助金交付要綱	

事業目的	対象 誰を・何を	①開発事業者(個人含む) ②全市民
	意図 どのような状態に	①開発事業に対して調整し、埋蔵文化財保護措置を講じる ②出土遺物の活用を推進する
事業内容	手段 どのような方法で	①各種調査の実施 ・埋蔵文化財包蔵地の確認 ・分布調査 ・工事立会 ・試掘調査 ・本発掘調査 ②出土遺物の再整理及び活用資料の作成と出土品展示

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
	構造・階数					指定管理者名	
	建築年度		改修年度		指定管理期間		
	耐震の有無		延床面積		類似施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度			平成24年度		

その他	特記事項等	国宝重要文化財等保存整備費補助金(国・県補助金)で実施 ①市内遺跡発掘調査等事業(開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図る各種調査) ②市内埋蔵文化財史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業(出土遺物の活用)
-----	-------	---

事業 №	158	事務 事業名	埋蔵文化財調査費	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	----------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 (開発事業と埋蔵文化財保護の調整人数)	人	218	218	241	110.6	241
	② 出土品展示見学	人	1,592	1,250	1,206	96.5	350
	③						
活動 指標	① 埋蔵文化財包蔵地照会への回答数及び 文化財保護法第93条等の受理、進達件数	件	190	190	205	107.9	205
	② 各種調査の実施件数 (分布、工事立会、試掘、本発掘)	件	28	28	36	128.6	48
	③ 展示品入れ替え及び関連資料作成	件	2	2	2	100.0	2

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	10,574 千円	7,955 千円	▲ 24.8	11,388 千円
	正規職員人件費相当額	13,938 千円	11,696 千円	▲ 16.1	10,744 千円
	退職手当引当金相当額	2,020 千円	1,634 千円	▲ 19.1	1,501 千円
	事業コスト計	26,532 千円	21,285 千円	▲ 19.8	23,633 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	6,615 千円	4,905 千円	▲ 25.9	7,650 千円
財源内訳	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	19,917 千円	16,380 千円	▲ 17.8	15,983 千円
	当 該 事 務				
	従 事 職 員 数	正規職員	2.02 人	▲ 14.9	1.58 人
		臨時職員	4.00 人	0.0	3.33 人
	利用者 1 人 当たりコスト	121.71 千円	88.32 千円	▲ 27.4	
うち一般財源ベース分		91.36 千円	67.97 千円	▲ 25.6	

評価項目	点数	説 明
必要性	4	文化財保護法により周知の埋蔵文化財包蔵地等での開発事業に対して埋蔵文化財保護の取り扱いが定められている事務。市域での開発事業が行われる限り継続される事務事業。
有効性	4	開発事業との調整で各種調査を実施することにより、埋蔵文化財の状況が確認でき、遺跡の実態解明や市内の成り立ちなどの把握に繋げることができる。
達成度	4	埋蔵文化財の取り扱い(調整)をクリアできないと開発事業が進展しないことから、支障のないよう可能な限り迅速な対応で実施した。
効率性	4	既に従事人員を削減していることからこれ以上削減すると事務事業の迅速な対応が困難になるので現状維持が必要である。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
開発事業者と埋蔵文化財の保護措置を迅速な調整を図るためにも、最低限現行どおりの事務体制が必要。					

事業№	事業名	埋蔵文化財管理費				担当部署	部名	教育委員会		
		159					課名	文化・スポーツ課		
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	電話	59・8093		
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					会計	一般会計		
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					款	教育費		
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					項	社会教育費		
	実施計画掲載	無		個別計画		目	埋蔵文化財調査費			
根拠法令・要綱等		出土品の取扱いについて(庁保記第182号 平成9年8月13日文化庁次長通知) 富山県出土品取り扱い基準(平成19年3月30日 県教委)								
事業目的	対象	誰を・何を								
	意図	どのような状態に								
事業内容	手段	どのような方法で								
		・発掘調査で記録した図面、写真及び出土した遺物、調査報告書(保存分)を確認できるよう整理し、埋蔵文化財収蔵庫(旧大江公民館)で保管。 ・遺物・資料の閲覧及び展示貸出への対応。								
補助金事業	類型区分									
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)							
施設管理運営事業	施設名					管理形態				
	構造・階数					指定管理者名				
	建築年度		改修年度		指定管理期間					
	耐震の有無		延床面積		類似施設状況					
	設備・規模									
	民間施設状況									
施設等整備事業	総事業費			財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	整備内容	平成22年度		平成23年度			平成24年度			
その他	特記事項等	発掘調査に伴う出土品は、文献資料とは異なる特質を備え、地域の歴史や文化を理解する上で欠くことのできない情報を提供する貴重な歴史的遺産である。 これらの資料を将来にわたり適切に保存し、広く活用できるよう整えておく必要がある。このため収蔵施設においても収蔵環境の向上を図っていく必要がある。 ※埋蔵文化財管理費には収蔵庫と埋蔵文化財整理室(人件費等整理事業費を除く)の施設管理費を含む。								

事業 №	159	事務 事業名	埋蔵文化財管理費	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	----------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 出土遺物の保管数	箱	2,730	2,740	2,742	100.1	2,752
	③						
活動 指標	① 保管遺物、資料の利用回数	回	4	4	4	100.0	5
	② 資料整理及び収納回数	回	3	3	3	100.0	3
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	764 千円	752 千円	▲ 1.6	3,881 千円
	正規職員人件費相当額	828 千円	816 千円	▲ 1.4	1,360 千円
	退職手当引当金相当額	120 千円	114 千円	▲ 5.0	190 千円
	事業コスト計	1,712 千円	1,682 千円	▲ 1.8	5,431 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
財源内訳	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	1,712 千円	1,682 千円	▲ 1.8	5,431 千円
	当 該 事 務				
	従 事 職 員 数	正規職員 0.12 人	0.12 人	0.0	0.20 人
		臨時職員 人	人		人
利用者1人当たりコスト		—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
必要性	4	№158埋蔵文化財調査から発生する事業で発掘調査後の出土品や記録資料管理を担うため必要不可欠な事業。
有効性	3	地域の歴史的遺産の継承を掌り、必要に応じて歴史を物語る資料をいつでも活用できる状態で保管
達成度	3	平成23年度出土品12箱を収蔵し、合計2742箱の出土遺物の保管ができた。また、記録図面・写真及び報告書保存分も併せて収蔵できた。
効率性	4	現地調査及び遺物整理、報告書作成業務とのスケジュール調整を図りながら、最も効率のよい整理及び保管を実施。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
今後も当該年度の出土遺物等の資料を適切に整理し、いつでも活用できる状態で保存を図る。また、復元遺物を整理箱から収蔵棚等への収納を検討し資料を利用しやすい環境に整えていく。					

事業№	事業名	芸術文化振興費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
160							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化振興費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市芸術文化団体派遣等補助金交付要綱						

事業目的	対象	誰を・何を	・市内の音楽、舞踊等の芸術活動を行っている者又は団体に報奨金を交付する。 ・芸術品に見識のある方への報酬
	意図	どのような状態に	・全国又は国際コンクールにおいて優秀な成績を修めた者を賞する。 ・芸術品の購入又は寄付等に際し、評価額を鑑定してもらう。
事業内容	手段	どのような方法で	・(奨励褒賞金) 国際コンクール 優勝等 個人 30,000円 団体 50,000円 参賞等 個人 20,000円 団体 30,000円 等 射水市芸術文化団体派遣等補助金交付要綱により交付 ・美術品の有識者に鑑定を依頼する。

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
						指定管理者名	
	構造・階数					指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	160	事務 事業名	芸術文化振興費	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	---------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 報奨金交付件数	件	1	2	1	50.0	2
	③ 鑑定件数	件	2	2	0	0.0	2
活動 指標	① 美術品購入件数	件	1	1	0	0.0	0
	②						
	③						

事業費・ 人件費	事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
	事業 コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	30 千円	10 千円	▲ 66.7	50 千円
		正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	▲ 1.4	136 千円
		退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	▲ 5.0	19 千円
	事業コスト計		188 千円	165 千円	▲ 12.2	205 千円
	財源 内訳	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
		そ の 他	千円	千円		千円
		一 般 財 源	188 千円	165 千円	▲ 12.2	205 千円
	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
		臨時職員	人	人		人
		利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分		—	—		

評価項目	点数	説 明
必 要 性	4	・レベル向上には全国・国際大会での活躍が必要であり、その励みとなっている。 ・美術品の購入又は寄付を受ける際には有識者に鑑定してもらう必要がある。
有 効 性	3	・芸術、文化向上に有効である。 ・美術品の価値を判断する必要がある。
達 成 度	2	・芸術、文化の大会には地方予選のないものが多く、実態把握が難しい。 ・有識者の鑑定により価値を判断している。
効 率 性	3	・激励金交付件数及び実績金額に比較すると効果はあると思われる。 ・美術品鑑定については、その価値を計る方法として他にない。

評価結果 (1次)	B	事業の進め方の改善が必要	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
・芸術部門の全国大会に優勝等をされる方は大変高いレベルにあり、件数として多くない。(日展作家等) ・鑑定報償費は美術品の購入及び寄付があった場合に必要とされる。					

事業№	事業名	芸術文化協会補助金・芸術祭会場使用料補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(芸術文化振興費)					課名	文化・スポーツ課
161							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化振興費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	射水市芸術文化協会
	意図	交付目的	射水市の芸術・文化の振興育成を図る。
事業内容	手段	補助金等を受ける実施する主な活動	・総会及び協会の運営に関すること ・芸能フェスティバル及び芸術文化作品展の開催 ・5支部の運営及び美術、華道、茶道、等の部門別、グループ別発表会、展示会の開催 ・新人及び若手の育成

補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助	☐ 事業費補助	☐ 施設等整備費補助	☐ 政策的補助	
		☐ 格差是正補助	☐ 利子補給	☐ その他 ()		
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		☐ 定額補助	・年額6300千円 (23年度) ・会場使用料の1/2			
		☐ 定率補助				
	その他					

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度				

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	161	事 務 事業名	芸術文化協会補助金・芸術祭会場使用料補助金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	------------	-----------------------	-----	----------

指 標 名			単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
					目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (協会会員数)	人	3,405	3,400	3,287	96.7	3,200
	②	芸能フェスティバル入場者数		891	2,000	2,031	101.6	1,000
	③							

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	7,308 千円	6,610 千円	▲ 9.6	6,500 千円
	(補助金等交付件数)	(3 件)	(2 件)	▲ 33.3	(1 件)
	正規職員人件費相当額	276 千円	272 千円	▲ 1.4	272 千円
	退職手当引当金相当額	40 千円	38 千円	▲ 5.0	38 千円
	事 業 コ ス ト 計	7,624 千円	6,920 千円	▲ 9.2	6,810 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	7,624 千円	6,920 千円	▲ 9.2	6,810 千円
財源内訳	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員 0.04 人	0.04 人	0.0	0.04 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	2.24 千円	2.11 千円	▲ 6.0	
	うち一般財源ベース分	2.24 千円	2.11 千円	▲ 6.0	

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	芸術文化協会は3287名の芸術文化を愛する会員で構成されており、その活動は芸術文化行政の中心的役割を担っている。
有 効 性	4	芸術文化協会のレベルの高さが射水市の文化レベルとなっている。 協会員の作品発表が一般の方々が芸術に触れる機会となっている。
効 率 性	4	組織が大きく、部門 (芸能、美術、茶道、華道等) も多種に渡るが、個々のグループ活動は活発である。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
これまで旧市町村の支部単位での活動が中心であったが、全市一体となった芸能、美術、茶道、華道等の部門別を中心とした組織改編を進める。					

事業№	事業名	いみず野美術展等開催補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(芸術文化振興費)					課名	文化・スポーツ課
162							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化振興費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	いみず野美術展実行委員会、射水市展運営委員会						
	意図	交付目的	いみず野美術展、射水市展を開催し芸術文化の振興を図る。						
事業内容	手段	補助金等を受ける実施する主な活動	・前年度に全国及び全県規模の公募展で優秀な成績を修められた作品をいみず野美術展として地元でも展示し射水市の美術レベルの向上を図る。 ・射水市展は市内の作家から作品を一般公募し、表彰することにより新人の発掘とレベルの向上を図る。						

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	○	事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
		格差是正補助		利子補給		その他 (	)		
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		○ 定額補助	定額補助1,700,000円 (23年度)						
		定率補助							
	その他								

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度			平成24年度	

その他	特記事項等							
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

事業 №	162	事務 事業名	いみず野美術展等開催補助金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	---------------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② いみず野美術展入場者数	人	456	500	541	108.2	550
	③ 射水市展入場者数	人	1,557	1,500	1,196	79.7	1,200

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	2,000 千円	1,700 千円	▲ 15.0	1,700 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	690 千円	884 千円	28.1	680 千円
	退職手当引当金相当額	100 千円	124 千円	23.5	95 千円
	事業コスト計	2,790 千円	2,708 千円	▲ 3.0	2,475 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	一 般 財 源	2,790 千円	2,708 千円	▲ 3.0	2,475 千円
	正 規 職 員	0.10 人	0.13 人	30.0	0.10 人
利用者 1 人 当 たり コ ス ト		—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	・いみず野美術展は合併前から続く美術展で、本市の美術レベル向上に貢献している。 ・市展は県内全ての市で実施されており、いずれも市が中心となって実施されている。
有 効 性	4	・いみず野美術展は作家同士に刺激を与え、レベルの向上に貢献している。 ・市内の美術家達は県展と並んで市展に出品することを目標に作品作りをしている。
効 率 性	4	・両美術展の合同開催を検討したが、開催場所や開催時期等の問題があり、難しい。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
・いみず野美術展は出展基準を上げて、少ない出品ながら レベルの高い美術展に、市展は多くの作家が出展する一般 公募展を目指す。					

事業№ 163	事業名 共催後援に伴う会場利用料補助金 (芸術文化振興費)	担当部署	部名	教育委員会
		課名	文化・スポーツ課	
		電話	59-8093	
事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度	—
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち		
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり		
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造		
	実施計画掲載	無	個別計画	
根拠法令・要綱等				

事業目的	対象	交付先	文化施設の指定管理者
	意図	交付目的	文化施設の設置条例中の減免措置について指定管理者の収益性を確保するもの。
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける実施する主な活動 ・文化施設の使用料減免に該当する場合、指定管理者の収入減となる部分を補填することにより指定管理者の経営を守る。	

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	☐ 事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他 ()		
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助	・使用料減免10割～1割分			
		☐ 定率補助				
	その他					

施設管理運営事業	施設名				管理形態			
	構造・階数				指定管理者名			
	建築年度	改修年度			指定管理期間			
	耐震の有無	延床面積			類似施設状況			
	設備・規模							

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
		平成22年度	平成23年度	平成24年度					
	整備内容								

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	163	事務 事業名	共催後援に伴う会場利用料補助金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	-----------------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 補填件数	件	163	5	2	40.0	5
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	225 千円	43 千円	▲ 80.9	100 千円
	(補助金等交付件数)	(6 件)	(2 件)	▲ 66.7	(5 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事 業 コ ス ト 計	462 千円	276 千円	▲ 40.4	333 千円
	財 源 内 訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	462 千円	276 千円	▲ 40.4	333 千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
利用者 1 人 当 たり コ ス ト		—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	・使用料減免に該当した場合、指定管理者の負担となるので、指定管理者の経営を圧迫しないよう補填する必要がある。
有 効 性	3	・事業の目的達成にあたって有効と考えられる。 ・使用料の減免をする場合、補填者である市と協議することを前提としている。
効 率 性	2	・結果として補助が重複する場合もあるので、協議の上重複しないようにしている。

評価結果 (1次)	B	補助率及び上限額の見直しが必要	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
基本的に市等の主催であっても、減免せずに負担すべきは負担してもらう様にしている。又、文化団体であっても、補助の一本化することにより、補助の重複しない様にする。					

事業№	事業名	ジュニアアート展補助金				担当部署	部名	教育委員会		
		(芸術文化振興費)					課名	文化・スポーツ課		
164							電話	59-8093		
事業期間		開始年度	平成 22 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計		
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費		
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費		
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化振興費		
	実施計画掲載	無		個別計画						
根拠法令・要綱等										
事業目的	対象	射水市美術協会								
	意図	射水市在住の中学生、高校生の美術作品を発表し、地元作家と交流することにより若い世代の創作意欲を高めて、地域芸術活動の推進を図る。								
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける実施する主な活動								
		・射水市内の中学、高校生を対象としたジュニアアート展を開催し、学生の創作活動を支援する。 ・出展者と地元作家の意見交換会を行い、レベルの向上を図る。								
補助金事業	類型区分	団体運営費補助		○ 事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助		
		格差是正補助		利子補給		その他 ()				
	補助内容	補助区分		算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		○ 定額補助		年額200,000円						
		定率補助								
		その他								
施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度			改修年度			類似施設状況			
	耐震の有無			延床面積			民間施設状況			
	設備・規模									
施設等整備事業	総事業費			財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度				
その他	特記事項等									

事業 №	164	事務 事業名	ジュニアアート展補助金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	-------------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② ジュニアアート展出品者数	人	123	125	128	102.4	130
	③ ジュニアアート展見学者数	人	589	600	600	100.0	630

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	200 千円	200 千円	0.0	200 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事 業 コ ス ト 計	437 千円	433 千円	▲ 1.0	433 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	437 千円	433 千円	▲ 1.0	433 千円
財源内訳	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.03 人	0.0	0.03 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	・芸術文化の振興には若い世代の育成が不可欠であり、市内の中高生の交流の場となる作品展は必要と考えられる。
有 効 性	3	・展示会の会場において美術協会の作家と意見交換を実施しており、育成に効果的である。
効 率 性	3	・更にレベルアップを図るには多くの参加者が必要である。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
事業のレベルアップのために展示会の拡大が必要であり、広くPRしていくとともにワークショップ等の取り組み等、指導方法に工夫をしていく。					

事業№	事業名	芸術文化団体派遣等補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(芸術文化振興費)					課名	文化・スポーツ課
165							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 18 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化振興費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市芸術文化団体派遣等補助金交付要綱						

事業目的	対象	交付先	市内で音楽、舞踊等の芸術文化活動を行っている個人又は団体
	意図	交付目的	市の芸術文化の振興及び市民の芸術文化の資質向上のため芸術文化大会に出場し、参加する者を補助する。
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動	・芸術文化の国際大会、国際発表会及び全国規模の大会発表会に出場し、又は発表する者を補助する。

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	☐ 事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助
		格差是正補助	利子補給	その他 ()	
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)		
		☐ 定額補助	国際大会、国際発表会・・・国外で開催・・・個人 30,000円、団体 300,000円 等 射水市芸術文化団体派遣等補助金交付要綱による。		
		定率補助			
その他					

施設管理運営事業	施設名				管理形態	
					指定管理者名	
	構造・階数				指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況	
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況	
	設備・規模					

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	165	事務 事業名	芸術文化団体派遣等補助金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	--------------	-----	----------

指 標 名				単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
						目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (派遣件数)		人	2	1	0	0.0	1
	②								
	③								

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	330 千円	0 千円	皆減	100 千円
	(補助金等交付件数)	(2 件)	(0 件)	皆減	(2 件)
	正規職員人件費相当額	138 千円	0 千円	皆減	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	0 千円	皆減	19 千円
	事業コスト計	488 千円	0 千円	皆減	255 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	一 般 財 源	488 千円	0 千円	皆減	255 千円
	正 規 職 員	0.02 人	0.00 人	皆減	0.02 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	244.00 千円	—	皆減	
	うち一般財源ベース分	244.00 千円	—	皆減	

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	—	未執行 (交付なし)
有 効 性	—	未執行 (交付なし)
効 率 性	—	未執行 (交付なし)

評価結果 (1次)	—	未執行のため評価不能	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
美術等の場合、流派等で全国コンクールをしている事が多く、その場合は補助の対象としていないため件数が少なくなっている。今後、実情に合わせた制度となるよう検討する。					

事業№	事業名	写真作家協会助成金				担当部署	部名	教育委員会
		(芸術文化振興費)					課名	文化・スポーツ課
166							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	芸術文化費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	射水市写真協会
	意図	交付目的	写真協会の活動と協会の技術力向上により、市写真文化の普及・向上を図る。
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動	・射水市写真協会展を開催(出品資格者は高校生以上の市内在住者・勤務者) ・講演会、撮影会等の会員を対象とした研修会を開催

補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
		格差是正補助		利子補給		その他()			
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		☐ 定額補助							
		定率補助	年額81,000円						
	その他								

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度				

その他	特記事項等	平成15年度(2003年度)に「射水写真作家協会」として結成。
-----	-------	---------------------------------

事業 №	166	事務 事業名	写真作家協会助成金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	-----------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 写真協会展出品者数	人	44	50	51	102.0	50
	③ 写真協会会員数	人	61	61	61	100.0	61

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	81 千円	81 千円	0.0	81 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	▲ 1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	▲ 5.0	19 千円
	事 業 コ ス ト 計	239 千円	236 千円	▲ 1.3	236 千円
	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	—	0 千円
	そ の 他	0 千円	0 千円	—	0 千円
	一 般 財 源	239 千円	236 千円	▲ 1.3	236 千円
財源内訳	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者 1 人 当 た り コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	市内全域に会員を抱え、写真文化の普及に貢献している。
有 効 性	3	市内全体での組織的な活動を奨励してきた結果、技術力向上に一定の成果があった。
効 率 性	2	協会の事業は最小限の経費で実施されている。

評価結果 (1次)	B	補助率及び上限額の見直しが必要	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
結成以来10年の活動により、一定の成果があったものと考えられる。 更なる普及のため事業の継続が必要であるが、少額補助であることから、そのあり方については、今後検討する。					

事業№	事業名	めでた保存会補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(芸術文化振興費)					課名	文化・スポーツ課
167							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化振興費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	新湊めでた保存会
	意図	交付目的	新湊地区伝わる伝統古謡「新湊めでた」を継承し、普及振興を図る。
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける実施する主な活動	・市内を中心とする各種行事に参加して「新湊めでた」の継承、普及活動を行う。 ・会員の技術向上のほか、「新湊めでた」の調査研究を行い、伝統を受け継ぐ。

補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
		格差是正補助		利子補給		その他 ()			
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		☐ 定額補助							
		定率補助	年額25,000円						
	その他								

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
						指定管理者名	
	構造・階数					指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	「新湊めでた」は、2004年(平成16年12月24日)に市指定無形民俗文化財に指定されており、めでた保存会は、その保存団体にあたる。
-----	-------	--

事業 №	167	事務 事業名	めでた保存会補助金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	-----------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 保存会会員数	人	88	85	85	100.0	85
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	25 千円	25 千円	0.0	25 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	▲ 1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	▲ 5.0	19 千円
	事業コスト計	183 千円	180 千円	▲ 1.6	180 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	—	0 千円
	そ の 他	0 千円	0 千円	—	0 千円
一 般 財 源		183 千円	180 千円	▲ 1.6	180 千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
うち一般財源ベース分		—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	市指定文化財でもある古謡の継承のため活動している団体である。
有 効 性	3	多くの市民に「新湊めでた」を披露することで、古謡の技術的継承及び会員以外への啓発効果も認められる。会員の高齢化が進んでいる。
効 率 性	2	少額補助金であるが、継承に対する支援の意義は大きい。

評価結果 (1次)	B	補助率及び上限額の見直しが必要	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
市指定文化財でもある古謡の継承のため、引き続き支援が必要であり、これまで同様に補助する。 また、担い手の育成について課題があり、今後、指導していく。					

事業№	事業名	越中大島太鼓振興会活動補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(芸術文化振興費)					課名	文化・スポーツ課
168							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化振興費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	越中大島太鼓振興会
	意図	交付目的	我が国の伝統芸能である太鼓を継承するとともに、演奏活動によって市のPRに貢献する越中大島太鼓振興会を育成する。
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動	定期的に週2回の練習を行い、市内外の太鼓の競演会に参加する。また、随時に各種行事での依頼を受けて公演活動を行う。

補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助	☐ 事業費補助	☐ 施設等整備費補助	☐ 政策的補助	
		☐ 格差是正補助	☐ 利子補給	☐ その他 ()		
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		☐ 定額補助				
		☐ 定率補助	年額324,000円			
	その他					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
						指定管理者名	
	構造・階数					指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	越中大島太鼓振興会は旧大島町の開町100年に際し、町の飛躍を祈念して平成元年に結成された。
-----	-------	---

事業 №	168	事務 事業名	越中大島太鼓振興会活動補助金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	----------------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 参加競演会・行事 (公演) 数	回	11	11	17	154.5	11
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	324 千円	324 千円	0.0	300 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	▲ 1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	▲ 5.0	19 千円
	事業コスト計	482 千円	479 千円	▲ 0.6	455 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	—	0 千円
	そ の 他	0 千円	0 千円	—	0 千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	一 般 財 源	482 千円	479 千円	▲ 0.6	455 千円
	正 規 職 員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	市で唯一の公演活動を事業とする和太鼓演奏団体である。
有 効 性	3	積極的に市内外で公演しており、市のPRに貢献している。
効 率 性	3	年ごとの公演回数によって出演料収入と関連支出に大きな増減があり、適切な措置が必要である。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
市を代表する和太鼓演奏団体であり、引き続きの育成と継続支援が必要である。					

事業№	事業名	絵本ワールド2011開催補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(芸術文化振興費)					課名	文化・スポーツ課
169							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 18 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化振興費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	とやま元気ワールド実行委員会
	意図	交付目的	絵本を通して幼児の情操教育を促し、豊かな感受性を育てるため、絵本に触れる機会を創造する。
事業内容	手段	補助金等の交付を受けて実施する主な活動	・講演会 ・絵本トーク ・絵本展示・販売 ・絵本読み聞かせ ・絵本ワークショップ ・コンサート ・人形劇

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	☐ 事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	☐ 利子補給	その他 ()		
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		☐ 定額補助				
		定率補助	年額650,000円			
	その他					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
						指定管理者名	
	構造・階数					指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	169	事 務 事業名	絵本ワールド2011開催補助金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	------------	-----------------	-----	----------

指 標 名			単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
					目標・見込	実績	達成率	
成果指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (大島絵本館入館者数 (開催期間中))	人	876	1,000	746	74.6	1,000
	②							
	③							

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	810 千円	650 千円	▲ 19.8	700 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	▲ 1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	▲ 5.0	19 千円
	事業コスト計	968 千円	805 千円	▲ 16.8	855 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	—	0 千円
	そ の 他	0 千円	0 千円	—	0 千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	一 般 財 源	968 千円	805 千円	▲ 16.8	855 千円
	正 規 職 員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	1.11 千円	1.08 千円	▲ 2.3	
	うち一般財源ベース分	1.11 千円	1.08 千円	▲ 2.3	

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	富山市・高岡市・射水市を中心に多くの県民が参加するイベントである。 富山県・富山市・高岡市・射水市の補助のほか、多くの企業が協賛しており全県的な取り組みである。
有 効 性	2	県内3会場のうち、大島絵本館が会場の一つとなっている。ただし、絵本館開催事業については、過去に絵本館単独で実施した事業が多く、必ずしも効果が大きいとはいえない。
効 率 性	3	市外で行うイベントに重点がおかれており、市民への還元が限定的である。

評価結果 (1次)	C	補助基準の見直しが必要	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
本事業と絵本館単独で行う事業に重複が多い。 事業の差別化を図る等の改善を指導するほか、事業内容に応じた補助金となるよう検討する。					

事業№ 170	事業名 スポーツ活動推進費	担当部署 部名 教育委員会 課名 文化・スポーツ課 電話 59-8093	事業期間 開始年度 平成 17 年度 終了年度 -	予算科目 会計 一般会計 款 教育費 項 保健体育費 目 体育総務費
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち		
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり		
	施策名(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興		
	実施計画掲載	無	個別計画	
根拠法令・要綱等 射水市スポーツ選手強化育成事業補助金交付要綱				

事業目的	対象	誰を・何を	全市民
	意図	どのような状態に	スポーツ活動、スポーツ行事を通して、市民が健康保持増進を図り、心身共に健全で明るく豊かな生活の形成に資するため
事業内容	手段	どのような方法で	市民体育大会、県民体育大会、元旦マラソン等のスポーツ活動、スポーツ行事を開催し、積極的に参加していただく

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
	構造・階数					指定管理者名	
	建築年度		改修年度		指定管理期間		
	耐震の有無		延床面積		類似施設状況		
					民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度			平成24年度		

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	170	事務 事業名	スポーツ活動推進費	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	-----------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 元旦マラソン参加者	人	661	650	651	100.2	650
	③ 県民体育大会参加者	人	1,341	1,300	1,315	101.2	1,300
活動指標	① スポーツ選手強化育成事業交付団体 (平成23 年度～)	団体	—	10	7	70.0	10
	② 特色あるスポーツ育成活動団体 (22年度終了)	団体	7	—	—		—
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業 コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	7,055 千円	5,804 千円	▲ 17.7	5,115 千円
	正規職員人件費相当額	345 千円	340 千円	▲ 1.4	340 千円
	退職手当引当金相当額	50 千円	48 千円	▲ 5.0	48 千円
事業費・ 人件費	事業コスト計	7,450 千円	6,192 千円	▲ 16.9	5,503 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	7,450 千円	6,192 千円	▲ 16.9	5,503 千円
財源内訳	当 該 事 務	正規職員	0.05 人	0.0	0.05 人
	従 事 職 員 数	臨時職員	人		人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
必 要 性	3	スポーツ行事を開催し、スポーツの振興、推進を図るため必要
有 効 性	4	スポーツ活動、行事を開催することは、スポーツの振興、推進を図り、健康保持増進に繋がり有効
達 成 度	4	スポーツ活動、行事の参加者も高い位置で推移している。
効 率 性	3	スポーツ行事を体協へ委託し専門性が発揮され、事務事業の効率が良い。

評価結果 (1次)	A	現行 (計画) どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
スポーツ行事、大会を開催することにより、スポーツに親しむ機会の拡充、スポーツの振興推進を図られており現行どおりとする。					

事業№	事業名	射水市スポーツ選手強化育成事業補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(スポーツ活動推進費)					課名	文化・スポーツ課
171							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 23 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	保健体育費
	施策名(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興					目	体育総務費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市スポーツ選手強化育成事業補助金交付要綱						

事業目的	対象	交付先	射水市体育協会加盟団体、総合型地域スポーツクラブ、その他教育委員会が認めた団体
	意図	交付目的	市内スポーツ選手の強化及び技術力向上に期するため
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動	上記目的のために強化遠征、強化合宿、強化練習会の開催

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	○	事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
		格差是正補助		利子補給		その他 ()			
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		定額補助	補助対象経費が20万円以上の事業を対象とし、補助金額は補助対象経費の2分の1の額とし、15万円を上限額とする						
		○ 定率補助							
	その他								

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
		平成22年度	平成23年度	平成24年度					
	整備内容								

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	171	事務 事業名	射水市スポーツ選手強化育成事業補助金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	--------------------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 事業実施団体数	団体	—	10	7	70.0	8
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	千円	1,500 千円	皆増	1,500 千円
	(補助金等交付件数)	(件)	(7 件)	皆増	(8 件)
	正規職員人件費相当額	千円	272 千円	皆増	272 千円
	退職手当引当金相当額	千円	38 千円	皆増	38 千円
	事業コスト計	千円	1,810 千円	皆増	1,810 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	一 般 財 源	千円	1,810 千円	皆増	1,810 千円
	正規職員	人	0.04 人	皆増	0.04 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	市スポーツ選手の強化育成、技術力向上を図るための補助事業であり適当である
有 効 性	3	市スポーツ選手を強化育成、技術力向上を図り、成績向上に繋げる。
効 率 性	4	補助対象経費の2分の1としており、対象者の自主財源がある

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
平成23年度から始めた事業であり、今後もスポーツ選手の強化育成を図る補助事業として必要と認めるため現行どおりとする。					

事業№	事業名	太閤山相撲大会開催補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(スポーツ活動推進費)					課名	文化・スポーツ課
172							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	保健体育費
	施策名(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興					目	体育総務費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	射水市相撲連盟					
	意図	交付目的	太閤山相撲大会開催運営費補助					
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける実施する主な活動	太閤山相撲大会の開催					

補助金事業	類型区分	団体運営費補助		☐	事業費補助	施設等整備費補助		政策的補助	
		格差是正補助			利子補給	その他 ()			
	補助内容	補助区分		算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					
		定額補助		予算の範囲内で交付					
		定率補助							
	☐ その他								

施設管理運営事業	施設名					管理形態			
						指定管理者名			
	構造・階数					指定管理期間			
	建築年度			改修年度			類似施設状況		
	耐震の有無			延床面積			民間施設状況		
設備・規模									

施設等整備事業	総事業費			財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度			

その他	特記事項等	平成23年度から委託料を補助金に移行
-----	-------	--------------------

事業 №	172	事務 事業名	太閤山相撲大会開催補助金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	--------------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 出場選手数	人	133	60	62	103.3	60
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業 コスト	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	180 千円	180 千円	0.0	180 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	▲ 1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	▲ 5.0	19 千円
	事 業 コ ス ト 計	338 千円	335 千円	▲ 0.9	335 千円
財源 内訳	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	338 千円	335 千円	▲ 0.9	335 千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	歴史ある伝統的行事の継承は大切であり、適当である。
有 効 性	3	相撲は相手を敬い、礼節を重んじる国技であり、参加する子供たちにとって大会開催は有効である。
効 率 性	4	市補助金だけでなく、市相撲連盟負担金と合わせ開催している。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
歴史ある伝統行事の継承とともに相撲を通して相手を敬い、友好の輪を広げる大会として意義深いと求める。また、県民体育大会への予選会を兼ねているため現行どおりとする。					

事業№ 173	事業名 スポーツ団体等強化育成費	担当部署	部名	教育委員会
		課名	文化・スポーツ課	
		電話	59-8093	
事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度	—
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち		
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり		
	施策名(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興		
	実施計画掲載	無	個別計画	
根拠法令・要綱等	国際的・全国的スポーツ大会において優秀な成績を収めた選手等に対する褒賞に関する基準 (内規)			

事業目的	対象	誰を・何を	基準に基づく対象者
	意図	どのような状態に	市民のスポーツの振興及び競技力向上に資するため、功績を称え一層の活躍を期する。
事業内容	手段	どのような方法で	対象者に、褒賞金を贈呈する。ただし、その年度の対象者の金額が10万円を超える大会までとする。 なお、オリンピックはこれに限らない。 オリンピック1位50,000円、2・3位30,000円、4～8位20,000円 国際大会1位30,000円、2.3位20,000円全国規模大会1位10,000円

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名				管理形態			
	構造・階数				指定管理者名			
	建築年度		改修年度		指定管理期間			
	耐震の有無		延床面積		類似施設状況			
	設備・規模							

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
		平成22年度	平成23年度	平成24年度					
	整備内容								

その他	特記事項等	平成23年度から全国規模大会の褒賞基準を改正し、優勝のみ対象とした。 平成24年度からオリンピック褒賞基準を改正し、1位300,000円、2位200,000円、3位100,000円、4～8位50,000円に変更。
-----	-------	---

事業 №	173	事 務 事業名	スポーツ団体等強化育成費	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	------------	--------------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 褒賞金 個人	人	24	10	10	100.0	15
	③ 褒賞金 団体	団体	5	2	1	50.0	2
活動指標	① オリンピック褒賞金1位単価	千円	50	50	50	100.0	300
	② オリンピック以外の国際大会褒賞金1位単価	千円	30	30	30	100.0	30
	③ 全国規模大会褒賞金1位単価	千円	10	10	10	100.0	10

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業 コスト	直 接 事 業 費 (臨時職員人件費含む)	920 千円	210 千円	▲ 77.2	320 千円
	正規職員人件費相当額	1,587 千円	1,564 千円	▲ 1.4	1,564 千円
	退職手当引当金相当額	230 千円	219 千円	▲ 5.0	219 千円
事業費・ 人件費	事 業 コ ス ト 計	2,737 千円	1,993 千円	▲ 27.2	2,103 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	2,737 千円	1,993 千円	▲ 27.2	2,103 千円
財源内訳	当 該 事 務	正規職員	0.23 人	0.0	0.23 人
	従 事 職 員 数	臨時職員	人		人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
必 要 性	4	国際的・全国的スポーツ大会で優秀な成績を収めた選手の功績を称えるため適当である。
有 効 性	3	スポーツ推進、振興及び競技力向上に資するため有効である。
達 成 度	3	年度により成績の上下はあるが一定の達成は得られている。
効 率 性	4	平成23年度から全国規模大会の褒賞基準を改正している。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
市民のスポーツ振興と競技力向上に資するため、スポーツ大会において優秀な成績を収めた選手の功績を称え、一層の活躍を期して現行どおりとする。					

事業№	事業名	全国大会等出場激励金				担当部署	部名	教育委員会
		(スポーツ団体等強化育成費)					課名	文化・スポーツ課
174							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	保健体育費
	施策名(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興					目	体育総務費
実施計画掲載		無	個別計画					
根拠法令・要綱等		射水市スポーツ大会出場激励金交付要綱						

事業目的	対象	交付先	県内予選会等を経て全国スポーツ大会等へ出場する者
	意図	交付目的	スポーツ大会に出場する者を激励し、もって市民のスポーツの振興及び競技力向上を図るため
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動	全国大会規模以上のスポーツ大会に出場する者に激励金を交付する。

補助金事業	類型区分		団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助
			格差是正補助		利子補給	○	その他(激励金)		
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		○ 定額補助	1 オリンピック100,000円						
		定率補助	2 国際大会20,000円						
	その他	3 全国大会5,000円							

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
		建築年度		改修年度		類似施設状況				
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
		平成22年度	平成23年度	平成24年度					
	整備内容								

その他	特記事項等	平成23年度の決算額が減った理由は、①平成22年に全国スポレク祭が富山県で開催され地元参加者枠があったこと ②平成23年度は東日本大震災によって中止になった大会が数多くあったことによる。
-----	-------	---

事業 №	174	事務 事業名	全国大会等出場激励金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	------------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 出場激励金 個人	人	278	280	287	102.5	280
	③ 出場激励金 団体	団体	14	14	11	78.6	12

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業 コスト	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	2,245 千円	1,930 千円	▲ 14.0	2,300 千円
	(補助金等交付件数)	(292 件)	(298 件)	2.1	(292 件)
	正規職員人件費相当額	828 千円	816 千円	▲ 1.4	816 千円
	退職手当引当金相当額	120 千円	114 千円	▲ 5.0	114 千円
事業費・ 人件費	事 業 コ ス ト 計	3,193 千円	2,860 千円	▲ 10.4	3,230 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	3,193 千円	2,860 千円	▲ 10.4	3,230 千円
財源内 訳	当 該 事 務	正規職員	0.12 人	0.0	0.12 人
	従 事 職 員 数				
	利 用 者 1 人 当 た り コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	激励金、褒賞金が交付されることは、全国大会に出場する者へのお祝いと励ましであり適当である。
有 効 性	3	スポーツ推進、振興及び競技力向上に資するため有効である。
効 率 性	2	補助額は適当である。

評価結果 (1次)	B	補助率及び上限額の見直しが必要	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
スポーツ大会に出場する者を激励することにより、出場者の意識の高揚に繋げ、もって市民のスポーツの振興及び競技力向上が図られており、現行どおりとする。					

事業№	事業名	射水市体育協会事務局費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
175							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	保健体育費
	施策名(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興					目	体育総務費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	財団法人 射水市体育協会
	意図	交付目的	射水市体育協会を円滑に運営するため
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動	嘱託職員等人件費、事務局を運営する経常経費

補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助	☐ 事業費補助	☐ 施設等整備費補助	☐ 政策的補助	
		☐ 格差是正補助	☐ 利子補給	☐ その他 ()		
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助	嘱託職員の人件費、事務局を運営する経常経費を算出			
		定率補助				
☐ その他						

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
						指定管理者名	
	構造・階数					指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度			平成24年度		

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	175	事務 事業名	射水市体育協会事務局費	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	-------------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 嘱託職員	人	2	2	2	100.0	2
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	18,406 千円	9,782 千円	▲ 46.9	9,666 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事業コスト計	18,643 千円	10,015 千円	▲ 46.3	9,899 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
財源内訳	一 般 財 源	18,643 千円	10,015 千円	▲ 46.3	9,899 千円
	当 該 事 務				
	従 事 職 員 数	正規職員 0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
	利用者 1 人 当たりコスト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	市内各競技団体、地区体協、スポーツ少年団、中体連、スポーツ推進委員との密接な連携の下、スポーツの振興を図っており、事務局が重要な役割をは果たしていることから妥当である
有 効 性	3	事務局が関係団体と連携し、市民の健康維持増進、競技力の向上に有効に働いてる
効 率 性	4	スポーツ行事等を受託し、その専門性を発揮しており効率性が良い

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
市内各競技団体、地区体協、スポーツ少年団、中体連、スポーツ推進委員との密接な連携の下、スポーツの振興を図っており、事務局が重要な役割をは果たしていることから現行どおりとする。					

事業№	事業名	全国パークゴルフ交流大会実行委員会補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(パークゴルフブランド化推進費)					課名	文化・スポーツ課
176							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 19 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	保健体育費
	施策名(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興					目	体育総務費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	射水市パークゴルフ協会、ミズノカップパークゴルフ実行委員会					
	意図	交付目的	全国パークゴルフ交流大会in射水大会などの全国大会をを開催し、射水市を全国に発信し、パークゴルフの一層の普及振興、市民の健康づくりに資するため。					
事業内容	手段	補助金等 の交付を 受ける 実施する 主な活動	全国パークゴルフ交流大会in射水大会の開催 ミズノカップパークゴルフ大会					

補助金事業	類型区分	団体運営費補助		○	事業費補助	施設等整備費補助		政策的補助	
		格差是正補助			利子補給	その他 ()			
	補助内容	補助区分		算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					
		定額補助		予算の範囲で交付する					
		定率補助							
	○ その他								

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数						指定管理期間			
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費			財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度			

その他	特記事項等	H22年度は全国スポレク祭のため、スポレク祭推進室で開催している。 全国パークゴルフ交流大会は、H23年度から市パークゴルフ協会が主管となり運営している。
-----	-------	--

事業 №	176	事 務 事業名	全国パークゴルフ交流大会実行委員会補助金	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	------------	----------------------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 大会参加者	人	240	400	468	117.0	450
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業 コスト	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	180 千円	1,680 千円	833.3	1,700 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(2 件)	100.0	(2 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	136 千円	▲ 34.3	136 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	19 千円	▲ 36.7	19 千円
事業費・ 人件費	事 業 コ ス ト 計	417 千円	1,835 千円	340.0	1,855 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	417 千円	1,835 千円	340.0	1,855 千円
財源内訳	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員 0.03 人	0.02 人	▲ 33.3	0.02 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	パークゴルフ大会を開催し、スポーツの振興、市民の健康保持増進に繋げており妥当である
有 効 性	4	この大会を開催し、射水市を全国に発信でき有効である。
効 率 性	4	平成23年度から射水市パークゴルフ協会が主管となり運営していることから効率が良い。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
全国パークゴルフ交流大会in射水大会などの全国大会を開催し、射水市を全国に発信し、パークゴルフの一層の普及振興、市民の健康づくりに資するため現行どおりとする。					

事業№	事業名	社会体育施設(野球場)				担当部署	部名	教育委員会
		(社会体育施設等維持管理費)					課名	文化・スポーツ課
177							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	保健体育費
	施策名(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興					目	体育施設費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	施設の利用対象	全市民
	意図	施設の設置目的	市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図り、心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に資するため
事業内容	手段	施設が実施する主な活動	スポーツ少年団や一般、地域の野球活動

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名	別紙「施設明細」参照			管理形態			
	構造・階数				指定管理者名			
	建築年度	年度	改修年度	—	指定管理期間	年度 ~ 年度		
	耐震の有無		延床面積	m ²	類似施設状況	県施設	市施設	
	設備・規模							

施設等整備事業	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度		

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	177	事 務 事業名	社会体育施設 (野球場)	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	------------	--------------	-----	----------

指 標 名			単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
					目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (施設利用者数 (3施設設計))	人	18,927	18,500	20,744	112.1	17,500
	②							
	③							
活動指標	①	※利用可能日数は別紙「施設明細」参照						
	②							
	③							

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	8,886 千円	8,565 千円	▲ 3.6	8,925 千円
	正規職員人件費相当額	276 千円	272 千円	▲ 1.4	272 千円
	退職手当引当金相当額	40 千円	38 千円	▲ 5.0	38 千円
	減価償却費相当額	3,261 千円	3,261 千円	0.0	3,261 千円
	事業コスト計	12,463 千円	12,136 千円	▲ 2.6	12,496 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	施設使用料	656 千円	597 千円	▲ 9.0	626 千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	11,807 千円	11,539 千円	▲ 2.3	11,870 千円
	当 該 事 務				
	従 事 職 員 数				
	正規職員	0.04 人	0.04 人	0.0	0.04 人
	臨時職員	0.22 人	0.22 人	0.0	0.22 人
	利用者 1 人 当たりコスト	0.66 千円	0.59 千円	▲ 11.2	
	うち一般財源ベース分	0.62 千円	0.56 千円	▲ 10.8	

評価項目	点数	説 明
必 要 性	3	野球を通し、市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図り、心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に資するため必要である。
有 効 性	3	堀岡緑地野球場が高圧の照明施設となっており、電気基本料が高額で有効とはいえない。
達 成 度	4	利用人数も順調に推移している。
効 率 性	4	堀岡緑地野球場を除けば効率性は良い。

評価結果 (1次)	C	施設の在り方の見直しが必要	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
堀岡緑地野球場の照明施設について検討する。					

事業 №	177	事業名	社会体育施設 (野球場)	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----	--------------	-----	----------

1	施 設 名	歌の森運動公園野球場			管 理 形 態	市直営			
					指定管理者名				
構 造 ・ 階 数		(管理棟)			指定管理期間				
建 築 年 度	平成 8 年度	改 修 年 度	—		類似施設状況	県 施 設	1	市 施 設	—
耐 震 の 有 無	有	延 床 面 積	㎡		民間施設状況	無			
設 備 ・ 規 模		競技場面積12,920㎡、両翼95m、中堅122m、観客席							

指標名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
				目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果 指標	利用者数 ※設定できる場合 (施設利用者数)	人	11,681	11,000	10,023	91.1	10,000
活動 指標	利用可能日数	日	358	359	359	100.0	358
事業費・ 人件費	事業費	平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算		
	直接事業費	5,997 千円	6,152 千円	2.6	5,985 千円		
	正規職員人件費相当額	69 千円	68 千円	▲ 1.4	68 千円		
	退職手当引当金相当額	10 千円	10 千円	▲ 5.0	10 千円		
	減価償却費相当額	3,111 千円	3,111 千円	0.0	3,111 千円		
	事業コスト計	9,187 千円	9,341 千円	1.7	9,174 千円		
	財源内訳						
	国県支出金	千円	千円		千円		
	施設使用料	393 千円	332 千円	▲ 15.5	384 千円		
	その他	千円	千円		千円		
	一般財源	8,794 千円	9,009 千円	2.4	8,790 千円		
	当該事務	正規職員	0.01 人	0.0	0.01 人		
	従事職員数	臨時職員	0.10 人	0.0	0.10 人		
	利用者 1 人当たりコスト	0.79 千円	0.93 千円	18.5			
	うち一般財源ベース分	0.75 千円	0.90 千円	19.4			

2	施 設 名	薬勝寺池南公園野球場			管 理 形 態	市直営			
					指定管理者名				
構 造 ・ 階 数		(審判控室)			指定管理期間				
建 築 年 度	昭和 55 年度	改 修 年 度	—		類似施設状況	県 施 設	—	市 施 設	1
耐 震 の 有 無		延 床 面 積	㎡		民間施設状況	無			
設 備 ・ 規 模		競技場面積7,600㎡、両翼80m、中堅100m							

指標名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
				目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果 指標	利用者数 ※設定できる場合 (施設利用者数)	人	6,751	7,000	10,138	144.8	7,000
活動 指標	利用可能日数	日	358	359	359	100.0	358
事業費・ 人件費	事業費	平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算		
	直接事業費	233 千円	166 千円	▲ 28.8	194 千円		
	正規職員人件費相当額	69 千円	68 千円	▲ 1.4	68 千円		
	退職手当引当金相当額	10 千円	10 千円	▲ 5.0	10 千円		
	減価償却費相当額	150 千円	150 千円	0.0	150 千円		
	事業コスト計	462 千円	394 千円	▲ 14.8	422 千円		
	財源内訳						
	国県支出金	千円	千円		千円		
	施設使用料	209 千円	222 千円	6.2	192 千円		
	その他	千円	千円		千円		
	一般財源	253 千円	172 千円	▲ 32.2	230 千円		
	当該事務	正規職員	0.01 人	0.0	0.01 人		
	従事職員数	臨時職員	0.10 人	0.0	0.10 人		
	利用者 1 人当たりコスト	0.07 千円	0.04 千円	▲ 43.3			
	うち一般財源ベース分	0.04 千円	0.02 千円	▲ 54.9			

事業 №	177	事 務 事業名	社会体育施設(野球場)				担当課	文化・スポーツ課			
3	施 設 名	堀岡緑地野球場			管 理 形 態	市直営					
					指定管理者名						
構 造 ・ 階 数					指定管理期間						
建 築 年 度		昭和 47 年度	改 修 年 度	—	類似施設状況	県 施 設	—	市 施 設	1		
耐 震 の 有 無			延 床 面 積	m ²	民間施設状況	無					
設 備 ・ 規 模		競技場面積9,514㎡、両翼80m、中堅100m、照明設備									
指 標 名				単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度		
						目標・見込	実績	達成率	目標・見込		
成果 指標	利用者数 ※設定できる場合 (施設利用者数)			人	495	500	583	116.6	500		
活動 指標	利用可能日数			日	358	359	359	100.0	358		
事業費・ 人件費	事 業 費		平成22年度決算		平成23年度決算		伸率		平成24年度予算		
	事業 コスト	直 接 事 業 費	2,656 千円		2,247 千円		▲ 15.4		2,746 千円		
		正規職員人件費相当額	69 千円		68 千円		▲ 1.4		68 千円		
		退職手当引当金相当額	10 千円		10 千円		▲ 5.0		10 千円		
		減 価 償 却 費 相 当 額	千円		千円				千円		
		事 業 コ ス ト 計	2,735 千円		2,325 千円		▲ 15.0		2,824 千円		
	財源 内訳	国 県 支 出 金	千円		千円				千円		
		施 設 使 用 料	54 千円		43 千円		▲ 20.4		50 千円		
		そ の 他	千円		千円				千円		
		一 般 財 源	2,681 千円		2,282 千円		▲ 14.9		2,774 千円		
	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正 規 職 員	0.01 人		0.01 人		0.0		0.01 人		
		臨 時 職 員	0.02 人		0.02 人		0.0		0.02 人		
利 用 者 1 人 当 た り コ ス ト		5.53 千円		3.99 千円		▲ 27.8					
うち一般財源ベース分		5.42 千円		3.91 千円		▲ 27.7					

事業№	事業名	社会体育施設 (薬勝寺池南公園サッカー場)				担当部署	部名	教育委員会
		(社会体育施設等維持管理費)					課名	文化・スポーツ課
178							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名 (章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	保健体育費
	施策名 (節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興					目	体育施設費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	施設の利用対象	全市民
	意図	施設の設置目的	市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図り、心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に資するため
事業内容	手段	施設が実施する主な活動	スポーツ少年団や一般、地域のサッカー活動

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名	薬勝寺池南公園サッカー場				管理形態	市直営		
	構造・階数					指定管理者名			
	建築年度	昭和 55 年度	改修年度	平成 20 年度	類似施設状況	県施設	—	市施設	—
	耐震の有無		延床面積	m ²	民間施設状況	無			
	設備・規模	競技場面積8,300m ² 、サッカー場 (天然芝) 1面							

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
		平成22年度	平成23年度	平成24年度					
	整備内容								

その他	特記事項等	平成20年度toto補助金で芝生化改修工事、平成21年8月供用開始。 平成22年度は多くの使用により芝生を傷めてしまった。平成23年度から芝生状態を見て一部制限使用していることから、利用者数に反映している。
-----	-------	--

事業 №	178	事 務 事業名	社会体育施設 (薬勝寺池南公園サッカー場)	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	------------	-----------------------	-----	----------

指 標 名			単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
					目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (施設利用者数)	人	4,741	3,500	3,317	94.8	3,500
	②							
	③							
活動指標	①	利用可能日数	日	358	359	359	100.0	358
	②							
	③							

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	2,919 千円	3,318 千円	13.7	3,318 千円
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	▲ 1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	▲ 5.0	19 千円
	減価償却費相当額	千円	千円		千円
	事業コスト計	3,077 千円	3,473 千円	12.9	3,473 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	施設使用料	199 千円	90 千円	▲ 54.8	160 千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	2,878 千円	3,383 千円	17.5	3,313 千円
	正 規 職 員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	臨 時 職 員	0.10 人	0.10 人	0.0	0.10 人
	利用者 1 人 当たりコスト	0.65 千円	1.05 千円	61.3	
うち一般財源ベース分		0.61 千円	1.02 千円	68.0	

評価項目	点数	説 明
必 要 性	4	サッカーを通し、市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図り、心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に資するため必要である
有 効 性	3	サッカーを通し、市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図っている。
達 成 度	3	サッカーを通し、市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図っている。
効 率 性	4	維持管理を公園等業務公社と連携しコスト面に留意し維持している。

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
サッカーを通し、健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図り、心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に資するため現行どおりとする。					

事業No.	事業名	社会体育施設(下村馬事公園)				担当部署	部名	教育委員会
		(社会体育施設等維持管理費)					課名	文化・スポーツ課
179							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	保健体育費
	施策名(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興					目	体育施設費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	施設の利用対象	全市民
	意図	施設の設置目的	馬に慣れ親しみ、乗馬体験などで馬とふれあうことができる
事業内容	手段	施設が実施する主な活動	乗馬体験、馬とのふれあい

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名	下村馬事公園			管理形態	指定管理			
	構造・階数	(クラブハウス・厩舎)			指定管理者名	NPO法人しもむらスポーツクラブまいけ			
	建築年度	昭和 61 年度	改修年度	—	指定管理期間	平成 22 年度 ～ 平成 26 年度			
	耐震の有無		延床面積	m ²	類似施設状況	県施設	—	市施設	—
	設備・規模	競技用馬場3,300m ² 、練習用馬場1,870m ² 、クラブハウス、厩舎(7頭分)、調教場、放牧場							

施設等整備事業	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度			平成24年度		
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 No.	179	事 務 事業名	社会体育施設（下村馬事公園）	担当課	文化・スポーツ課
-----------	-----	------------	----------------	-----	----------

指 標 名			単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
					目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (施設利用者数)	人	2,177	2,200	2,355	107.0	2,200
	②							
	③							
活動 指標	①	利用可能日数	日	358	359	359	100.0	358
	②							
	③							

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 （臨時職員人件費含む）	3,995 千円	3,995 千円	0.0	3,995 千円
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	▲ 1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	▲ 5.0	19 千円
	減価償却費相当額	819 千円	819 千円	0.0	819 千円
	事業コスト計	4,972 千円	4,969 千円	▲ 0.1	4,969 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	施設使用料	千円	千円		千円
財源内訳	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	4,972 千円	4,969 千円	▲ 0.1	4,969 千円
	当 該 事 務				
	従 事 職 員 数				
	利用者1人当たりコスト	2.28 千円	2.11 千円	▲ 7.6	
財源内訳	うち一般財源ベース分	2.28 千円	2.11 千円	▲ 7.6	

評価項目	点数	説 明
必 要 性	3	県指定無形文化財「流鎚馬」の馬も飼育し、市民の憩いの場となっている。
有 効 性	4	馬とのふれあいや乗馬体験ができる施設として有効である。
達 成 度	4	利用人数も順調に推移している。
効 率 性	4	指定管理施設として効率よく運営されている。

評価結果 （1次）	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 （2次）		
評価結果を踏まえた今後の方針（改善内容）			評価委員会のコメント		
馬に慣れ親しみ、乗馬体験などで馬とふれあうことができる。また、県指定無形文化財「流鎚馬」の馬も飼育していることから現行どおりとする。					

事業№	事業名	学校体育施設開放事業費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
180							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	保健体育費
	施策名(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興					目	体育総務費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市立学校体育施設の開放に関する条例						

事業目的	対象	誰を・何を	全市民
	意図	どのような状態に	市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図り、心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に資するため
事業内容	手段	どのような方法で	地域の小中学校の学校体育施設を、学校教育の支障のない範囲で開放し、市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図り、心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に資する

補助金事業	類型区分						
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				

施設管理運営事業	施設名				管理形態			
					指定管理者名			
	構造・階数				指定管理期間			
	建築年度		改修年度		類似施設状況			
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況			
	設備・規模							

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	180	事 務 事業名	学校体育施設開放事業費	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	------------	-------------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人	146,325	146,000	147,225	100.8	138,000
	② 体育館20校	人	101,889	101,000	100,695	99.7	101,000
	③ グラウンド14校	人	44,436	45,000	46,530	103.4	45,000
活動 指標	① 延べ開放日数	日	5,556	5,500	5,484	99.7	5,500
	② 体育館20校延べ開放日数	日	4,519	4,500	4,648	103.3	4,500
	③ グラウンド14校延べ開放日数	日	1,416	1,400	1,434	102.4	1,400

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業 コスト	直 接 事 業 費 (臨時職員人件費含む)	5,049 千円	5,318 千円	5.3	5,385 千円
	正規職員人件費相当額	1,587 千円	1,564 千円	▲ 1.4	1,564 千円
	退職手当引当金相当額	230 千円	219 千円	▲ 5.0	219 千円
事業費・ 人件費	事 業 コ ス ト 計	6,866 千円	7,101 千円	3.4	7,168 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	2,335 千円	2,214 千円	▲ 5.2	2,544 千円
	一 般 財 源	4,531 千円	4,887 千円	7.8	4,624 千円
財源 内訳	当 該 事 務	正規職員	0.23 人	0.0	0.23 人
	従 事 職 員 数	臨時職員	0.40 人	0.0	0.40 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	0.05 千円	0.05 千円	2.8	
	うち一般財源ベース分	0.03 千円	0.03 千円	7.2	

評価項目	点数	説 明
必 要 性	3	市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図るため必要な事業である。
有 効 性	4	市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図っている。
達 成 度	4	高い利用度で推移している。
効 率 性	4	各地域の学校体育施設を利用でき効率が良い。

評価結果 (1次)	A	現行 (計画) どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
利用者も多く、市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図られていることから、現行どおりとする。					

事業№	事業名	パークゴルフ場維持管理費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
181							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	保健体育費
	施策名(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの振興					目	体育施設費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	施設の利用対象	全市民
	意図	施設の設置目的	市民の健康保持及び増進、並びにスポーツの振興を図り、心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に資するため
事業内容	手段	施設が実施する主な活動	パークゴルフ

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名	別紙「施設明細」参照			管理形態			
					指定管理者名			
	構造・階数				指定管理期間	年度 ～ 年度		
	建築年度	年度	改修年度	—	類似施設状況	県施設	市施設	
	耐震の有無		延床面積	m ²	民間施設状況			
	設備・規模							

施設等整備事業	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度		

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	181	事 務 事業名	パークゴルフ場維持管理費	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	------------	--------------	-----	----------

指 標 名			単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
					目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (施設利用者数(万葉パークゴルフ場を除く))	人	89,959	89,000	91,821	103.2	90,500
	②							
	③							
活動指標	①	※利用可能日数は別紙「施設明細」参照						
	②							
	③							

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	12,713 千円	11,035 千円	▲ 13.2	11,035 千円
	正規職員人件費相当額	414 千円	408 千円	▲ 1.4	408 千円
	退職手当引当金相当額	60 千円	57 千円	▲ 5.0	57 千円
	減価償却費相当額	4,709 千円	4,709 千円	0.0	4,709 千円
	事業コスト計	17,896 千円	16,209 千円	▲ 9.4	16,209 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	施設使用料	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	17,896 千円	16,209 千円	▲ 9.4	16,209 千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.06 人	0.06 人	0.0	0.06 人
	臨時職員	人	人		人
	利用者 1 人 当たりコスト	0.20 千円	0.18 千円	▲ 11.3	
うち一般財源ベース分		0.20 千円	0.18 千円	▲ 11.3	

評価項目	点数	説 明
必 要 性	3	パークゴルフを通し、市民の健康保持及び増進、心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に資するため必要性がある。
有 効 性	4	多くのパークゴルフ愛好者がパークゴルフを通し、健康保持及び増進を図り有効性は高い。
達 成 度	4	多くの利用者で推移している。
効 率 性	4	指定管理施設として効率よく運営されている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
多くの愛好者がパークゴルフを楽しみ、健康保持増進が図られていることから、現行どおりとする。					

事業 №	181	事業 事業名	パークゴルフ場維持管理費	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	--------------	-----	----------

1	施 設 名	パークゴルフ南郷			管 理 形 態	指定管理			
					指定管理者名	NPO法人だいもんスポーツクラブ			
構 造 ・ 階 数		(クラブハウス)			指定管理期間	平成 23 年度 ～ 平成 27 年度			
建 築 年 度		平成 11 年度	改 修 年 度	平成 18 年度	類似施設状況	県 施 設	1	市 施 設	1
耐 震 の 有 無			延 床 面 積	m ²	民間施設状況	小杉地区1施設			
設 備 ・ 規 模		36ホール (国際パークゴルフ協会公認コース)、クラブハウス							

指標名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
				目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果 指標	利用者数 ※設定できる場合 (施設利用者数)	人	38,109	38,000	39,450	103.8	39,000
活動 指標	利用可能日数	日	219	218	218	100.0	216
事業費・ 人件費	事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算	
	事業コスト	直接事業費	5,063 千円	3,385 千円	▲ 33.1	3,385 千円	
		正規職員人件費相当額	69 千円	68 千円	▲ 1.4	68 千円	
		退職手当引当金相当額	10 千円	10 千円	▲ 5.0	10 千円	
		減価償却費相当額	3,116 千円	3,116 千円	0.0	3,116 千円	
		事業コスト計	8,258 千円	6,579 千円	▲ 20.3	6,579 千円	
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
		施設使用料	千円	千円		千円	
		その他	千円	千円		千円	
		一般財源	8,258 千円	6,579 千円	▲ 20.3	6,579 千円	
	当該事務 従事職員数	正規職員	0.01 人	0.01 人	0.0	0.01 人	
		臨時職員	0.01 人	0.01 人	0.0	0.01 人	
	利用者1人当たりコスト		0.22 千円	0.17 千円	▲ 23.0		
	うち一般財源ベース分		0.22 千円	0.17 千円	▲ 23.0		

2	施 設 名	下村パークゴルフ場			管 理 形 態	指定管理			
					指定管理者名	NPO法人しもむらスポーツクラブまいけ			
構 造 ・ 階 数		(クラブハウス)			指定管理期間	平成 22 年度 ～ 平成 26 年度			
建 築 年 度		平成 11 年度	改 修 年 度	平成 19 年度	類似施設状況	県 施 設	1	市 施 設	1
耐 震 の 有 無			延 床 面 積	m ²	民間施設状況	小杉地区1施設			
設 備 ・ 規 模		36ホール (国際パークゴルフ協会公認コース)、クラブハウス							

指標名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
				目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果 指標	利用者数 ※設定できる場合 (施設利用者数)	人	45,421	45,000	46,886	104.2	46,000
活動 指標	利用可能日数	日	219	218	218	100.0	216
事業費・ 人件費	事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算	
	事業コスト	直接事業費	7,100 千円	7,100 千円	0.0	7,100 千円	
		正規職員人件費相当額	69 千円	68 千円	▲ 1.4	68 千円	
		退職手当引当金相当額	10 千円	10 千円	▲ 5.0	10 千円	
		減価償却費相当額	1,511 千円	1,511 千円	0.0	1,511 千円	
		事業コスト計	8,690 千円	8,689 千円	0.0	8,689 千円	
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
		施設使用料	千円	千円		千円	
		その他	千円	千円		千円	
		一般財源	8,690 千円	8,689 千円	0.0	8,689 千円	
	当該事務 従事職員数	正規職員	0.01 人	0.01 人	0.0	0.01 人	
		臨時職員	人	人		人	
	利用者1人当たりコスト		0.19 千円	0.19 千円	▲ 3.1		
	うち一般財源ベース分		0.19 千円	0.19 千円	▲ 3.1		

事業 №	181	事務 事業名	パークゴルフ場維持管理費	担当課	文化・スポーツ課
---------	-----	-----------	--------------	-----	----------

3	施 設 名	中山公園パークゴルフ場			管 理 形 態	市直営			
					指定管理者名				
構 造 ・ 階 数		(事務所)			指定管理期間				
建 築 年 度	平成 元 年度	改 修 年 度	—		類似施設状況	県 施 設	—	市 施 設	1
耐 震 の 有 無		延 床 面 積	m ²		民間施設状況	無			
設 備 ・ 規 模		18ホール、事務所							

指 標 名			単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度	
					目標・見込	実績	達成率	目標・見込	
成果 指標	利用者数 ※設定できる場合 (施設利用者数)		人	6,429	6,000	5,485	91.4	5,500	
活動 指標	利用可能日数		日	265	264	264	100.0	262	
事業費・人件費	事 業 費		平成22年度決算		平成23年度決算		伸率	平成24年度予算	
	事業 コスト	直 接 事 業 費	50 千円		50 千円		0.0	50 千円	
		正規職員人件費相当額	69 千円		68 千円		▲ 1.4	68 千円	
		退職手当引当金相当額	10 千円		10 千円		▲ 5.0	10 千円	
		減 価 償 却 費 相 当 額	82 千円		82 千円		0.0	82 千円	
		事 業 コ ス ト 計	211 千円		210 千円		▲ 0.7	210 千円	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円		千円			千円	
		施 設 使 用 料	千円		千円			千円	
		そ の 他	千円		千円			千円	
		一 般 財 源	211 千円		210 千円		▲ 0.7	210 千円	
	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正 規 職 員	0.01 人		0.01 人		0.0	0.01 人	
		臨 時 職 員	人		人			人	
	利 用 者 1 人 当 た り コ ス ト			0.03 千円		0.04 千円		16.4	
		う ち 一 般 財 源 ベ ー ス 分		0.03 千円		0.04 千円		16.4	

4	施 設 名	万葉パークゴルフ場			管 理 形 態	市直営			
					指定管理者名				
構 造 ・ 階 数					指定管理期間				
建 築 年 度	年度	改 修 年 度	—		類似施設状況	県 施 設	—	市 施 設	1
耐 震 の 有 無		延 床 面 積	㎡		民間施設状況	無			
設 備 ・ 規 模	18ホール								

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度	
				目標・見込	実績	達成率	目標・見込	
成果 指標	利用者数 ※設定できる場合 (※自由に使えるためカウントできない)		人	—	—	—	—	
活動 指標	利用可能日数		日	265	264	264	100.0	262
事業費・人件費	事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算		
	事業 コスト	直 接 事 業 費	500 千円	500 千円	0.0	500 千円		
		正規職員人件費相当額	69 千円	68 千円	▲ 1.4	68 千円		
		退職手当引当金相当額	10 千円	10 千円	▲ 5.0	10 千円		
		減 価 償 却 費 相 当 額	千円	千円		千円		
		事 業 コ ス ト 計	579 千円	578 千円	▲ 0.3	578 千円		
	財源 内訳	国 県 支 出 金	千円	千円		千円		
		施 設 使 用 料	千円	千円		千円		
		そ の 他	千円	千円		千円		
		一 般 財 源	579 千円	578 千円	▲ 0.3	578 千円		
	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正 規 職 員	0.01 人	0.01 人	0.0	0.01 人		
		臨 時 職 員	人	人		人		
	利 用 者 1 人 当 た り コ ス ト		—	—				
	うち一般財源ベース分		—	—				